



平成30年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年5月10日

上場会社名 株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメント 上場取引所 東  
 コード番号 2124 URL http://corp.jac-recruitment.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松園 健  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 管理本部長 (氏名) 服部 啓男 (TEL) 03-5259-6926  
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績(平成30年1月1日~平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	5,403	41.0	1,314	△6.0	1,326	△5.1	902	△7.5
29年12月期第1四半期	3,831	17.0	1,397	17.8	1,398	17.8	976	22.1

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 938百万円(△3.9%) 29年12月期第1四半期 976百万円(22.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	22.29	22.26
29年12月期第1四半期	24.19	24.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第1四半期	13,649	10,923	79.6
29年12月期	15,143	11,889	78.2

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 10,871百万円 29年12月期 11,845百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	50.00	50.00
30年12月期	—	—	—	—	—
30年12月期(予想)	—	0.00	—	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日~平成30年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,896	40.1	2,528	△4.4	2,536	△4.2	1,773	△5.5	43.69
通期	22,757	41.8	5,495	3.5	5,511	3.6	3,881	5.3	95.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 4社 (社名) JAC Recruitment (UK) Ltd、JAC Personnel Recruitment Ltd、PT JAC Consulting Indonesia、PT JAC Business centre、除外 1社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年12月期1Q	41,292,000株	29年12月期	41,292,000株
② 期末自己株式数	30年12月期1Q	628,619株	29年12月期	802,843株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年12月期1Q	40,503,438株	29年12月期1Q	40,358,462株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式付与E S O P信託口が保有する当社株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済において、企業の求人意欲は依然高く、2月の有効求人倍率は1.58倍という高水準を維持しております。こうした環境の下、当社グループの国内人材紹介事業は、ターゲットとする中高額帯と専門性の高い求人への集中的な取り組みにより、売上高、利益とも期初の予想を超える進捗となりました。

当年度の当社グループは、「IoT」や「AI」等の高度テクノロジーをはじめとする、経済の先端領域に注目した「Grow and Expand in a fast changing world」(テクノロジー革新の中での成長と拡大)をテーマと定め、前年度に引き続きコンサルタント個人の「成長」と組織の「拡大」をしっかりと意識した経営を推進していく所存であります。

その中でも特に、当社の強みである日系企業の海外関連分野についてはさらなる強化を図るべく、平成30年3月22日に開示いたしましたとおり、JAC Recruitment Asia Ltd(本社：シンガポール、以下「JRA」といいます。)の全株式を取得し、名実共にグローバルグループとしての体制を整えました。同社はアジア8ヶ国の17地域で人材紹介事業を展開しており、特に日系人材、ジャパニーズスピーカーをはじめとする現地人材を各地域の日系企業に紹介する事業領域においては優位な立場にあります。その一方で、多国籍企業への紹介においても実績を伸ばしており、JAC Recruitment というブランド名も同一であることから、今後のワールドワイドなブランド戦略展開にとって、大きなメリットになると判断しております。

経費につきましては予算内で推移しており、当年度におきましても安定した財務基盤を形成して、さらなる株主還元を可能とする態勢を整えてまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,403百万円(前年同期比41.0%増)となりました。セグメント別売上高は、国内人材紹介事業が4,312百万円(同14.9%増)、国内求人広告事業が80百万円(同5.6%増)、海外事業が1,009百万円となっております。

利益面では、営業利益は1,314百万円(前年同期比6.0%減)、経常利益は1,326百万円(同5.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は902百万円(同7.5%減)となりました。セグメント別損益は、国内人材紹介事業が1,342百万円(同4.6%減)、国内求人広告事業が△8百万円(前年同期は△8百万円)、海外事業が△6百万円となっております。

なお、当第1四半期連結会計期間におけるJRAの連結子会社化に伴い、セグメント区分を見直し、報告セグメントを従来の「東京本社」、「北関東支店」、「横浜支店」、「名古屋支店」、「静岡支店」、「大阪支店」、「京都支店」、「神戸支店」、「中国支店」、「JAC International」、「シー・シー・コンサルティング」の11区分から、「国内人材紹介事業」、「国内求人広告事業」、「海外事業」の3区分へ変更しております。このため、JRAを含む「海外事業」の前年同期比については記載しておりません。

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、以下のとおりであります。

セグメントの名称	売上高 (百万円)	前年同期比 (%)
国内人材紹介事業	4,312	114.9
国内求人広告事業	80	105.6
海外事業	1,009	—
合計	5,403	141.0

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。  
 3. 当第1四半期連結会計期間におけるJRAの連結子会社化に伴い、セグメント区分を見直し、報告セグメントを従来の「東京本社」、「北関東支店」、「横浜支店」、「名古屋支店」、「静岡支店」、「大阪支店」、「京都支店」、「神戸支店」、「中国支店」、「JAC International」、「シー・シー・コンサルティング」の11区分から、「国内人材紹介事業」、「国内求人広告事業」、「海外事業」の3区分へ変更しております。このため、JRAを含む「海外事業」の前年同期比については記載しておりません。

なお、事業別・業界部門別に示すと、以下のとおりであります。

事業・業界部門	売上高 (百万円)	前年同期比 (%)
1. 国内人材紹介事業		
電気・機械・化学業界	1,726	117.3
消費財・サービス業界	1,029	106.0
メディカル・医療業界	724	130.8
I T・通信業界	435	95.9
金融業界	393	130.2
その他	2	623.6
国内人材紹介事業 計	4,312	114.9
2. 国内求人広告事業		
国内求人広告事業 計	80	105.6
3. 海外事業		
海外事業 計	1,009	—
合 計	5,403	141.0

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。  
 3. 当第1四半期連結会計期間におけるJRAの連結子会社化に伴い、セグメント区分を見直し、報告セグメントを従来の「東京本社」、「北関東支店」、「横浜支店」、「名古屋支店」、「静岡支店」、「大阪支店」、「京都支店」、「神戸支店」、「中国支店」、「JAC International」、「シー・シー・コンサルティング」の11区分から、「国内人材紹介事業」、「国内求人広告事業」、「海外事業」の3区分へ変更しております。このため、JRAを含む「海外事業」の前年同期比については記載しておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金4,208百万円減少、のれん2,159百万円増加、売掛金433百万円増加等により、前連結会計年度末に比べて1,494百万円減少の13,649百万円となりました。

負債につきましては、未払費用674百万円減少、未払法人税等596百万円減少、賞与引当金485百万円増加等により、前連結会計年度末に比べて529百万円減少の2,725百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益902百万円、剰余金の配当2,064百万円、自己株式の減少152百万円等により、前連結会計年度末に比べ965百万円減少の10,923万円となり、自己資本比率は79.6%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月22日に開示いたしましたJRAの全株式取得に伴い、平成30年12月期の連結業績予想を、第2四半期(累計)、通期ともに平成30年1月31日開示の連結業績予想から変更しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,269	5,061
売掛金	926	1,360
貯蔵品	1	3
前払費用	134	214
繰延税金資産	462	243
その他	25	93
貸倒引当金	△2	△5
流動資産合計	10,816	6,969
固定資産		
有形固定資産		
建物	290	347
減価償却累計額	△143	△194
建物(純額)	146	153
機械及び装置	9	27
減価償却累計額	△3	△5
機械及び装置(純額)	5	21
車両運搬具	—	5
減価償却累計額	—	△4
車両運搬具(純額)	—	0
工具、器具及び備品	208	425
減価償却累計額	△153	△341
工具、器具及び備品(純額)	54	83
リース資産	6	6
減価償却累計額	△2	△3
リース資産(純額)	3	2
建設仮勘定	19	0
有形固定資産合計	229	263
無形固定資産		
のれん	23	2,183
商標権	0	0
ソフトウェア	55	67
ソフトウェア仮勘定	304	361
無形固定資産合計	384	2,612
投資その他の資産		
投資有価証券	2,905	2,905
出資金	0	0
敷金及び保証金	725	808
破産更生債権等	3	3
繰延税金資産	83	89
長期未収入金	11	11
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	3,713	3,803
固定資産合計	4,326	6,679
資産合計	15,143	13,649

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
リース債務	1	1
未払金	393	397
未払費用	1,245	571
未払法人税等	875	279
未払消費税等	358	269
預り金	132	533
前受収益	55	87
賞与引当金	—	485
役員賞与引当金	—	2
株式給付引当金	153	48
解約調整引当金	35	46
流動負債合計	3,252	2,722
固定負債		
リース債務	2	1
その他	—	0
固定負債合計	2	2
負債合計	3,254	2,725
純資産の部		
株主資本		
資本金	619	619
資本剰余金	1,569	1,569
利益剰余金	10,358	9,196
自己株式	△702	△549
株主資本合計	11,845	10,835
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	35
その他の包括利益累計額合計	—	35
新株予約権	43	52
純資産合計	11,889	10,923
負債純資産合計	15,143	13,649

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	3,831	5,403
売上原価	179	572
売上総利益	3,651	4,831
販売費及び一般管理費		
役員報酬	82	138
給料及び手当	896	1,425
法定福利費	184	253
株式報酬費用	8	8
退職給付費用	34	45
賞与引当金繰入額	405	485
役員賞与引当金繰入額	2	2
株式給付引当金繰入額	38	47
貸倒引当金繰入額	4	0
地代家賃	167	233
減価償却費	18	39
のれん償却額	3	47
広告宣伝費	146	250
その他	259	539
販売費及び一般管理費合計	2,254	3,516
営業利益	1,397	1,314
営業外収益		
受取利息	0	4
為替差益	0	5
設備賃貸料	0	0
その他	0	1
営業外収益合計	1	12
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	1,398	1,326
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	1,398	1,326
法人税、住民税及び事業税	182	210
法人税等調整額	240	214
法人税等合計	422	424
四半期純利益	976	902
親会社株主に帰属する四半期純利益	976	902

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	976	902
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	35
その他の包括利益合計	—	35
四半期包括利益	976	938
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	976	938
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

一部の連結子会社における四半期連結財務諸表の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			報告セグメント計	調整額	合計
	国内人材紹介事業	国内求人広告事業	海外事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,755	76	—	3,831	—	3,831
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3	—	3	△3	—
計	3,755	80	—	3,835	△3	3,831
セグメント利益又は損失(△)	1,406	△8	—	1,398	—	1,398

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。

2. 国内求人広告事業の報告セグメントには、のれん償却額3百万円が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			報告セグメント計	調整額	合計
	国内人材紹介事業	国内求人広告事業	海外事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,312	80	1,009	5,403	—	5,403
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	3	—	8	△8	—
計	4,318	84	1,009	5,412	△8	5,403
セグメント利益又は損失(△)	1,342	△8	△6	1,326	—	1,326

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。

2. 国内求人広告事業の報告セグメントにはのれん償却額0百万円が、海外事業の報告セグメントにはのれん償却額46百万円が、含まれております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間におけるJRAの連結子会社化に伴い、セグメント区分を見直し、報告セグメントを従来の「東京本社」、「北関東支店」、「横浜支店」、「名古屋支店」、「静岡支店」、「大阪支店」、「京都支店」、「神戸支店」、「中国支店」、「JAC International」、「シー・シー・コンサルティング」の11区分から、「国内人材紹介事業」、「国内求人広告事業」、「海外事業」の3区分へ変更しております。

なお、前第1四半期連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法等により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

平成30年3月27日付でJRAの株式を取得し新たに連結子会社化したことに伴い、海外事業セグメントにおいてのれんが2,295百万円増加しております。